

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立小原木中学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒 988-0535  
宮城県気仙沼市唐桑町館 68 番地  
 E-mail : koharagi@chorus.ocn.ne.jp  
 Website : \_\_\_\_\_  
 児童生徒数：男子 16 名 女子 20 名 合計 36 名  
 児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。  
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 【海拔表示プロジェクトの取組について】

### 1 ねらい

東日本大震災の教訓をもとに、地域と連携した防災拠点としての学校の在り方を探るとともに生徒の防災対応能力の育成を図る。

- ①海拔表示板の取り付けを通して、防災適応能力の向上を図る。
- ②地域の方と協働でプロジェクトを行うことで、地域の一員であることの意識や地域復興の担い手であることの自覚の向上を図る。
- ③メンテナンスを定期的に行うことにより、災害の教訓を風化させることなく、後世に伝承しようとする態度を育成する。

### 2 取組の概要

#### (1) 昨年度の取組

昨年度は電柱調査活動、表示板の図案の検討と製作、電柱への取り付け、広報活動を行った。電柱調査や表示板の作成では、生徒が積極的にかかわる様子が見られた。電柱への取り付けや広報活動では、地域の子どもから大人の方とのかかわりを通して、自己有用感や自己肯定感を育成することができた。

#### (2) 今年度の取組

##### ①表示板の作成

昨年度の取組を発展させ、今年度は「海拔表示板を増やそう」をテーマに掲げ、取り組んだ。生徒自らが地域内に出向き、どこに表示板があればより活用できるかを考えながら調査活動を行うことができた。表示板の作成に当たっては、昨年度表示板の作成の中心となった、先生を講師に招いて講習会を開催し、全生徒が表示板を作成することができた。

##### ②取組の広報

9月には、本校の防災教育の取組を知った秋田県の中学生在が本校を訪れ、交流会を持つとともに、海拔表示プロジェクトについての説明をとおして、取り組みについて知ってもらう良い機会となった。また、学校と地域の連携に視点から、ユネスコスクール全国大会の席上で発表し、多くの方々に知っていただく機会となった。このような広報活動を通して、生徒たちも「自分たちの取組が多くの人役に立っている」という気持ちをさらに強く持つことができるようになっていく。

##### ③津波防災を理解するために

8月には、「津波とともに生きる」と題して、美術館学芸員さんの講話を聞いた。これまでの三陸地方の津波被害の歴史や津波被害にどのように向き合い、どのように立ち直ってきたのか、今後、どのように津波や自然とかがわりながら生活していかなければならないかなどについて理解することができた。さらに、東日本大震災によって被災した、たくさんの方が展示してある美術館を見学し、後世に伝えていかなければならないという自覚を持つこともできた。

### 3 おわりに

本校3年生の生徒が、「海拔表示プロジェクト」を題材にした弁論発表が内閣総理大臣賞を受賞した。生まれ育った故郷で何が起こったのかを忘れず、後世に伝えていきたいという内容であった。その思いは発表した本人だけでなく確実に全校生徒一人一人の思いとなっている。今後も「忘れないために」継続した取り組みをしていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）